

## Future Earth に関する国際動向概要 (2017-2018)

2018.1.31 委員会資料

**1. Future Earth 全体会議**

- ・ 日時、開催地：2017年3月18-24日、モントリオール
- ・ 会議：Science Committee (SC) and Engagement Committee (EC)会議ならびに Governing Council (GC) 会議
- ・ 新決定事項：SC/EC から Advisory Committee (AC) への改組へ
- ・ 次回：2018年2月6日に臨時 GC 会議（ベルリン、一部は電話会議）、4月27-29日に AC 引き続き GC 会議（ウルグアイ）

**2. 新組織への移行**

- ・ モントリオール会議以降、GC 共同議長による組織改編の検討
- ・ Governance document を改訂、承認：国際事務局は地域センター、地域オフィスも含む組織とすることなど
- ・ AC は Future Earth の GC と国際事務局への助言機能を持つことを明確化、メンバーは GC co-chairs と AC co-chairs が選考
- ・ GC 構成組織も見直しへ：5ハブ支援組織代表5人も GC メンバーへ（日本ハブについてはフューチャー・アース日本委員会議長）

**3. 新事務局長の決定、着任**

- ・ Dr. Amy Luers（元 EC 副委員長、2017年3月モントリオールでの面接後決定、6月公表、9月着任）

**4. AC 共同議長の決定**

- ・ Dr. Leena Srivastava と Dr. Johan Rockström（2017年12月公表）

**5. Global Research Projects (GRPs) との連携**

- ・ 各 GRP に対応する Sec liaison を任命、SSC 会合への出席、日常の連絡報告を担当
- ・ SSC 会合への旅費、会議費等を、原則一律 15,000 €/年支援

**6. Knowledge-Action Networks (KANs) の動向**

- ・ 現在、11の KAN が活動あるいは正式発足への準備中：ホームページ上で Development Team や Steering Committee への公募あり、日本語版ニュースメールでも案内
- ・ Urban KAN, Risk KAN のワークショップを日本で開催

**7. 国際的資金拡大活動**

- ・ ベルモントフォーラムとの連携強化、The Program for Early-stage Grants Advancing Sustainability Science (PEGASuS: <http://www.futureearth.org/pegasus>) からの新たな資金援助、Call for SDG Labs Africa、各国からの拠出金導入、他

## 8. 国連他国際イベントでのプレゼンス、貢献

- ・ UN Ocean conference, COP23 : Global Carbon Budget 2017 (GCP) や The 10 Science 'Must Knows' on Climate Change の発表他多数のサイドイベント開催、CBD 事務局との MoU 締結、Johan Rockström 氏の World Economic Forum での講演など

## 9. 日本ハブとしての活動

- ・ 事務局オフィス：東京大学サステナビリティ学連携研究機構 (IR3S)
- ・ 事務局スタッフ：4名 (春日、毛利、橋本、武藤)
- ・ 活動概要
  - 1) 国際研究活動支援
    - 1.1. GRPs : IGAC と IRGP と MAIRS (アジア地域センター) 担当
    - 1.2. KANs : Health KAN、Risk KAN、Finance KAN のサポート、SSCP KAN はアジア地域センターがサポート (蟹江、福士、植松、山形、Ayyoob、遠藤各氏が、SDGs, Urban, Ocean, Finance, Nexus KANs に Development Team member などの形で参画)
    - 1.3. データタスクフォース内の調整、外部関連機関との連絡
  - 2) コミュニケーション活動
    - 2.1. Future Earth communication team としての活動
    - 2.2. 国内広報活動
    - 2.3. 国際ワークショップ開催 (科学未来館サミットでのセッションなど)
  - 3) 国内外諸会議・行事でのフューチャー・アースの紹介、発信
 

第2回イオン未来の地球フォーラム開催 (2018年1月20日、東京大学)、国内外での講演、論文・解説記事の執筆など
  - 4) アジア地域センター、各国委員会との連携、グローバルハブ内の連絡調整
 

主催行事への相互参加、アジア (顧問) 委員会への参加、各国訪問、事務局会議参加
  - 5) 資金拡大活動
 

各国拠出金 (日本、韓国から授受済み、台湾、中国、タイと交渉中)、企業訪問

参考：

<http://www.futureearth.org/>

国立環境研究所特任フェロー

Future Earth Global Hub Director – Japan

春日文子